

2026年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔国語科〕【文学国語】	3 年	2 単位	教科書	文学国語 (数研出版)	副教材等		履修対象・ 使用教室 等	3 年 4 組選択
教科・ 科目 の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (１) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (２) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (３) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。また、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「５段階の評価」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	学習プリント		毎授業時			50	50	50	
	単元テスト・課題		内容理解			50	50	50	
	(観点別配分%)		(３観点の比重を%で示しています)						
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度	
4 5	「赤い蔦」	13	・寓話を理解し、独自の解釈を文章化できる ・比喩表現を活用した文章作成ができる			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
6	「骰子の七の目」	11	・空想的な場面設定を抽象的に捉えられる ・小説読解に必要な語彙を増やす			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
7 8	「夏の花」 「わたしが一番きれいだったとき」 「死んだ男の残したものは」	9	・戦争文学から自己の生き方を見つめる			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
9 10	「こころ」	17	・時系列の整理、人称の変化から物語を構造的に理解する ・情景描写から人物像、心情の交錯を読み取る			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
11 12	「枯野抄」 創作活動	13	・実社会と対比的に人物の心情を捉えられる ・文学的文章を創作する			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
1	創作活動	7	・文学的文章を創作する			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
学習の アドバイス	特記事項なし								